

平成25年11月 全国百貨店売上高概況

平成25年12月19日

I. 概況

1. 売上高総額	5,654億円余
2. 前年同月比	2.4% (店舗数調整後/2か月ぶりプラス)
3. 調査対象百貨店	85社 242店 (平成25年10月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,238,141㎡ (前年同月比:-1.4%)
5. 総従業員数	80,865人 (前年同月比:-2.8%)
6. 3か月移動平均値	4-6月 3.1%、5-7月 2.1%、6-8月 2.2%、 7-9月 0.6%、8-10月 1.5%、9-11月 1.5%

[参考] 平成24年11月の売上高増減率は2.2% (店舗数調整後)

【11月売上の特徴】

天候不順で苦戦した前月から一転し、2か月ぶりのプラスとなった。

今年11月は、中旬以降の冷え込みによる冬物需要の高まりや、冬のボーナスアップへの期待感による消費マインドの改善、さらには円安を受けた将来の値上げ観測や消費税率引き上げ前の駆け込み需要などもあって、主力の衣料品(+1.0%)が堅調に推移したほか、ラグジュアリーブランド(身のまわり品:+5.9%)や美術・宝飾・貴金属(+21.0%)などの高額商材が引き続き好調さを維持した。また、前年に比べ土曜日が一日増えたことなどのプラス要素もあって、最終的には、全国規模で増収基調を回復する結果となった。

その他当月の特徴的な動向としては、地区別では改装・増床効果のある大都市(10都市:+3.4%)に加えて地方(10都市以外:+0.6%)もプラス基調で推移したこと、商品別では8月以来3か月ぶりに主要5品目全てが前年実績をクリアしたこと、住宅市場の活況や大型消費財の駆け込み需要などを背景に家具(+7.4%)が大きく伸びたこと、訪日外国人は東南アジアの大幅増と中国の回復傾向が牽引する形で、売上・客数共に前年比倍増(売上:+122.7%/客数:+111.4%)と極めて好調に推移したこと、などが報告されている。

【要因】

- (1) 天候 : 気象庁発表「11月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)
 - ◇ 気温は、上旬は全国的に高かったが、中旬以降は寒気が流れ込み、平年を下回る日が多かった。また、低気圧や冬の気圧配置の影響で、日本海側では降水量がかなり多かった。北日本日本海側の降雪量は多かった。
- (2) 営業日数増減 29.9日 (前年同月比±0.0日)
- (3) 土・日・祝日の合計 10日 (" +1日/土曜1日増)
- (4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数133店舗)
 - ①増加した: 38店、②変化なし: 47店、③減少した: 48店
- (5) 11月歳時記 (文化の日、勤労感謝の日、七五三、歳暮) の売上 (同上/有効回答数108店舗)
 - ①増加した: 24店、②変化なし: 62店、③減少した: 22店

全国百貨店 売上高速報 2013年11月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	565,425,876	100.0	2.4 (2.0)
10都市	376,316,561	66.6	3.4 (3.1)
札幌	13,420,513	2.4	3.2
仙台	8,010,116	1.4	5.9
東京	145,444,602	25.7	3.9 (3.3)
横浜	34,243,933	6.1	4.6
名古屋	33,836,875	6.0	8.3
京都	21,790,432	3.9	2.2
大阪	76,089,802	13.5	1.9
神戸	14,374,317	2.5	-1.3
広島	11,706,144	2.1	-3.4
福岡	17,399,827	3.1	3.4
10都市以外の地区	189,109,315	33.4	0.6 (-0.2)
北海道	2,984,046	0.5	2.1
東北	9,637,492	1.7	0.0
関東	90,075,654	15.9	-0.2 (-1.3)
中部	13,874,107	2.5	-0.1
近畿	18,643,849	3.3	0.7
中国	13,164,918	2.3	2.1 (-1.8)
四国	10,112,852	1.8	1.9
九州	30,616,397	5.4	2.5

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	565,425,876	100.0	2.4 (2.0)
紳士服・洋品	45,164,748	8.0	1.8 (1.4)
婦人服・洋品	126,633,209	22.4	1.3 (0.9)
子供服・洋品	11,715,485	2.1	-1.5 (-1.8)
その他衣料品	13,685,277	2.4	-1.8 (-2.1)
衣 料 品	197,198,719	34.9	1.0 (0.6)
身のまわり品	64,720,925	11.4	5.9 (5.5)
化粧品	31,161,051	5.5	3.3 (3.0)
美術・宝飾・貴金属	28,252,202	5.0	21.0 (19.9)
その他雑貨	21,068,086	3.7	2.0 (1.8)
雑 貨	80,481,339	14.2	8.5 (8.0)
家具	6,908,754	1.2	7.4 (6.0)
家電	2,814,896	0.5	80.9 (80.9)
その他家庭用品	17,769,303	3.1	-1.3 (-1.7)
家 庭 用 品	27,492,953	4.9	5.7 (5.2)
生 鮮 食 品	35,796,980	6.3	1.3 (1.0)
菓 子	38,961,691	6.9	-0.1 (-0.6)
惣 菜	33,496,982	5.9	0.1 (-0.2)
その他食料品	56,813,456	10.0	-0.2 (-0.7)
食 料 品	165,069,109	29.2	0.2 (-0.2)
食 堂 喫 茶	14,163,367	2.5	-2.8 (-2.9)
サ ー ビ ス	5,860,059	1.0	-0.6 (-0.7)
そ の 他	10,439,405	1.8	1.6 (0.2)
商 品 券	21,141,541	3.7	-2.5 (-2.8)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | 3.4% (店舗数調整後/4か月連続プラス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | 0.6% (店舗数調整後/5か月ぶりプラス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	3.4	2.2	4か月連続プラス
札幌	3.2	0.1	4か月連続プラス
仙台	5.9	0.1	2か月ぶりプラス
東京	3.9	1.0	4か月連続プラス
横浜	4.6	0.3	2か月ぶりプラス
名古屋	8.3	0.5	4か月連続プラス
京都	2.2	0.1	3か月ぶりプラス
大阪	1.9	0.3	13か月連続プラス
神戸	-1.3	0.0	5か月連続マイナス
広島	-3.4	-0.1	10か月連続マイナス
福岡	3.4	0.1	2か月ぶりプラス
10都市以外の地区	0.6	0.2	5か月ぶりプラス
北海道	2.1	0.0	2か月ぶりプラス*
東北	0.0	0.0	2か月連続マイナス*
関東	-0.2	0.0	5か月連続マイナス
中部	-0.1	0.0	5か月連続マイナス
近畿	0.7	0.0	2か月ぶりプラス
中国	2.1	0.0	2か月ぶりプラス*
四国	1.9	0.0	5か月ぶりプラス
九州	2.5	0.1	2か月ぶりプラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が13か月連続、身のまわり品が4か月連続、家庭用品が2か月連続、衣料品と食料品が2か月ぶりのプラスと、全品目が3か月ぶりにプラスとなった。また、美術・宝飾・貴金属が15か月連続、その他雑貨が6か月連続、家具、生鮮食品が4か月連続、紳士服・洋品、婦人服・洋品、化粧品、惣菜が2か月ぶり、家電が5か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	2.4	—	2か月ぶりプラス
紳士服・洋品	1.8	0.1	2か月ぶりプラス
婦人服・洋品	1.3	0.3	2か月ぶりプラス
子供服・洋品	-1.5	0.0	2か月連続マイナス
その他衣料品	-1.8	0.0	2か月連続マイナス
衣料品	1.0	0.4	2か月ぶりプラス
身のまわり品	5.9	0.7	4か月連続プラス
化粧品	3.3	0.2	2か月ぶりプラス*
美術・宝飾・貴金属	21.0	0.9	15か月連続プラス*
その他雑貨	2.0	0.1	6か月連続プラス*
雑貨	8.5	1.1	13か月連続プラス
家具	7.4	0.1	4か月連続プラス
家電	80.9	0.2	5か月ぶりプラス
その他家庭用品	-1.3	0.0	3か月連続マイナス
家庭用品	5.7	0.3	2か月連続プラス
生鮮食品	1.3	0.1	4か月連続プラス*
菓子	-0.1	0.0	2か月連続マイナス*
惣菜	0.1	0.0	2か月ぶりプラス*
その他食料品	-0.2	0.0	3か月ぶりマイナス*
食料品	0.2	0.1	2か月ぶりプラス
食堂喫茶	-2.8	-0.1	2か月連続マイナス
サービス	-0.6	0.0	2か月ぶりマイナス
その他	1.6	0.0	4か月ぶりプラス
商品券	-2.5	-0.1	33か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>